

第1回 国道169号下北山村上池原地区防災対策

検討委員会 議事概要

1 日時 : 令和5年12月26日 18:00～

2 場所 : 奈良県庁 第一会議室 (オンライン)

3 出席者 :

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邊 一弘
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長 (土木・政策統括担当)	安井 広之

4 議 事

- (1) 規約確認
- (2) 資料説明
- (3) 質疑・意見交換

主な議事内容

- (1) 規約確認

- (2) 資料説明

事務局より配布資料に沿って説明

- ・国道169号(下北山村)の崩土事故の対応状況
- ・緊急診断結果報告
- ・下北山村上池原協議資料(現地踏査結果報告等)

- ・ 現地踏査写真（作業着手前）
- ・ 緊急踏査報告書（令和5年5月9日）
- ・ 防災カルテ（平成15年度、平成19年度、平成25年度）
- ・ 国道169号下北山村上池原地区の地質状況

（3）質疑・意見交換

まとめ）○要因について

- ・ 凍結融解に加えて、長年の地震や降雨等が影響したことが要因と考えられる。

○今後の作業の進め方について

- ・ 上部の不安定な岩塊をクライミングマシーンで除去して、下の土砂を撤去していくべき。
- ・ 計測機器や監視員などの監視体制を確保しながら土砂撤去すべき。
- ・ モルタル吹付の裏側の風化具合を確認すべき。
- ・ 対策を検討にするにあっては、風化とゆるみの複合的な要因について考慮すべき。
- ・ オーバーハングになっている箇所については今後の作業のために除去しておくべき。

○その他

- ・ 法面点検の記録を改めて分析する必要がある。
- ・ 今後、地盤の不確実性を含めた法面のリスクマネジメントが大事。
- ・ 今後、多数の吹付法面の維持管理について、どのように行っていくのが課題。